

なごや生物多様性サマースクール 2018

生きものが棲む猪高の水を調べよう

2018年8月3日 9:30~12:00

運営 名東自然倶楽部 調査グループ

昨年と同じく表記イベントを開催しました。参加者7名+保護者4名 計11名の参加でした。

森の集会所にて猪高緑地の説明、今日の調査項目とその測定の仕方の説明を行い、実際に測定しに出かけました。

測定地点は、塚の杵池の水草(睡蓮の葉)の下の水、塚の杵池からこもれば池に向かう流れの水(デッキ下)、こもれば池の水です。COD: Chemical Oxygen Demand 化学的酸素要求度を測定するパックテストの薬剤が使用禁止となり、未だ代替物が出来ていないので、今回はCODの測定が出来ませんでした。

最初に測定したのは、塚の杵池の水草(スイレン)の下の水です。塚の杵池はスイレン(浮葉植物)が多くの水面を覆っています。水面で光合成を行い酸素を出しますが、その下では光合成を行いません。そのような水草の下ではDO: Dissolved Oxygen 溶存酸素が少ない事が予想されます。昨年はオオバナイトタヌキモの下で測定したのですが、スイレンの下でも結果は、4.5mg/lとやはりかなり低い値を示しました。溶存酸素が少なくても生きていけるコイやフナでも苦しいレベルでした。

次に測定したのは、デッキの下の流れです。ここは、塚の杵池からの流れだけでなく、左右の尾根から滲み出す水も集まって流れています。流れによって、水は攪拌さ



れ空気と触れる機会が多く、溶存酸素が多くなると予想されました。測定結果は、7.0mg/l と予想通り高い値を示しました。

最後に測定したのはこもれば池です。塚の杵池水系の一番下の池になります。2013年末にできた新しい池で、水草は殆ど生えていません。抽水植物が岸辺に散在している程度です。DO 7.0mg/l デッキしたと同じ値でした。DOは流れ込む水のDOが高いのと、水面を覆ってしまう植物が無い事が理由で、高いレベルの値になっていると予測します。

過去のデータと比較してデッキ下とこもれば池の透視度が非常に悪くなっています。過去4週間の雨量が5.5mmしかない事が何か影響しているのではないかと思います。説明できません。

参加者全員にパックテストと透視度の測定を経験して頂きました。

最後に、森の集会所で結果の共有、解説を行い解散としました。今年も、親さんも含めて初めてパックテストを行ったとか透視度計を見たと言う方が多く、色々な体験をして頂けたと思います。

	塚の坎池				デッキ下の流れ			こもれば池			メダカ池
	水草の下	表面	底	睡蓮の下				排水口			
	2017/8/1	2018/6/12	2018/6/12	2018/8/4	2017/8/1	2018/6/12	2018/8/4	2017/8/1	2018/6/12	2018/8/4	2018/6/12
気温	32.7	29.1		36.2	30.5	27.1	33.1	33.8	28.1	32.6	29.0
水温	29.7	27.9	25.0	31.0	28.3	24.1	28.5	28.6	22.8	31.1	23.2
pH	6.0	6.5	6.5	6.5	7.0	6.5	7.0	6.5	6.5	7.0	6.0
COD	20.0	20.0	30.0		6.0	7.5		17.0	13.0		16.0
DO	4.0	6.0	4.0	4.5	10.0	7.0	7.0	7.0	6.5	7.0	
透視度	41.2	86.0		48.0	46.5	51.0	23.0	52.0	33.0	25.0	10.0
水の色	薄い黄緑	乳白色	やや乳白色	薄茶	淡い黄緑	やや乳白色	薄茶	淡い黄緑	淡い黄褐色	薄茶	淡い黄褐色
におい	2水草臭い	水草の臭い	水草の臭い	砂遊びの臭い	2水草の臭い	無し	表現できない程度	2水草の臭い	水草の臭い	?と言う臭い	

2017年8月1日 なごや生物多様性サマースクール 2017

2018年6月12日 上社中学校2年生 総合学習

2018年8月4日 なごや生物多様性サマースクール 2018